

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日： 2012年 11月 28日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) オオハシリョウキ
	有限会社 大橋量器 (団体名) <small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small>
応募 担当者 連絡先	団体名： 有限会社 大橋量器
	所在地： 〒503-0908 岐阜県大垣市西外側町2丁目8番地
	部署名：
	役職名： 代表取締役
	氏名： 大橋 博行
	TEL： 0584-78-5468 FAX： 0584-78-7614
	E-Mail： ohashi@masukoubou.jp
ホームページ	http://www.masukoubou.jp (会社案内) http://www.masuza.co.jp (web shop)
応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可） まずの製造販売	
	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

新商品カーボンオフセット枡の製作と販売

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/kijun.pdf>

<カーボン・オフセット対象・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

Ⅱ 自己活動オフセット支援型

枡1個につきクレジット1kg-CO₂が付いている商品を販売し、消費者一人あたり1kgのCO₂

排出量をオフセットする。オフセット主体＝商品の購入者（消費者）

なお、事前に初回ロット1,000個分のクレジット（1t-CO₂）を取得し無効化手続きを行う。

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外

2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

2012年12月販売開始予定。なお、初回ロット1,000個分については、事前にJ-VERクレジットを取得し、無効化手続きを実施した上で、販売する予定です。初回ロットが完売するまでは、商品の販売活動を継続する予定です。

また、販売数量が1,000個を超える場合には、引き続き事前にクレジットの取得及び無効化手続きを実施する予定です。

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

今後、販売開始に合わせ、弊社の HP にて情報公開をする予定です。

自社HP <http://www.masukoubou.jp/> <http://www.masuza.co.jp/>

その他には、東京インターナショナルギフトショー等の展示会、百貨店での催事や地域イベントでの出店に際し、チラシの配布やブースに訪れた人に直接情報提供を行う予定です。

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

Ⅱ 自己活動オフセット支援型

枺 1 個につきクレジット 1 kg-CO₂ が付いている商品を販売し、消費者一人あたり 1 kg の CO₂ 排出量をオフセットする。オフセット主体＝商品の購入者（消費者）

なお、事前に初回ロット 1,000 個分のクレジット（1 t-CO₂）を取得し無効化手続きを行う。

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1.002 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ
 その他（具体的に _____)

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（%）についても記載してください。

岐阜県産オフセット・クレジット（J-VER）100%

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

加子母森林組合による間伐事業を用いた温室効果ガス吸収プロジェクト

登録番号：0112

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

オフセット・クレジット登録簿システムにおいて、平成 24 年 11 月 26 日に無効化申請書を提出しております。（2012 年 12 月販売開始までには、無効化完了予定）（11 月 27 日現在）

なお、無効化手続きにおいては、オフセット・プロバイダー

（株）ウェイストボックス 口座番号 JP-100-20000-00001-00170-00）に委託して実施しております。クレジット特定番号(FROM～TO)

JP-200-000-000-257-945～945（クレジット量 1t-CO₂）

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

当社の作製する木枡に使われる材料は、建築材として利用されるヒノキの端材を利用します。また、枡を作るために森林の伐採は行われておりません。よって、商品自体が環境負荷の非常に低いものであることを分かって頂けると思います。

それに加え、デザイナーとのコラボレーションで、枡を作製する際に出るカンナの削りカス（通常は廃棄物となるもの）を有効利用した ECO 加湿器「mast」を販売。

同じく削りカスをお客様へ届いた瞬間の感動を演出するため、天然の芳香剤兼梱包材として活用しております。

これらの商品・サービスは、お客様より大変好評を頂いております。

CO₂ 排出削減活動に無理をして取り組むのではなく、知恵を絞り、ヒノキの魅力的な部分を効果的に活用しようと考えたら、それは当社の自慢できる CO₂ 排出量削減の取り組みになりました。

枡自体がエコであることを再認識していただくことと共に、ヒノキの香りが人々に安らぎを与え、自然とモノを大切にすることや、日々の日常を振り返る時間を共にして頂けたら幸いです。



ECO 加湿器 mast



← 梱包の一例。

製品例→



また、岐阜県内のみならず広く全国の方に、商品の販売活動を通して、岐阜県の豊かな森林資源や、その恵みを享受し生産される工芸品、そしてまた岐阜県産 J-VER を使用したカーボン・オフセットについても、広く PR したいと考えております。こうした一連のつながり・ストーリー性が、今回の取組の重要な部分でもあると考えています。

2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

①先に記述致しました通り、当社は材木の端材を利用して枡を製造しております。

森を守る、林業を守ることはこれを生業にしている当社にとってごくごく自然なことであります。

今回のカーボン・オフセットは当社の重要な供給源である、岐阜県中津川市にある加子母森林業組合の支援に繋がるということで、いつもお世話になっている所に間接的に支援をすることができ、かつ、地球温暖化防止にも寄与できるという大変魅力的なご提案を関係企業様より頂き、実施することを決めました。

当社の製品を買ってもらうことで、日常生活で排出される6kgのうちの一部ではありますが、日常生活の何気ない活動を見直してもらうキッカケの一助になれば幸いです。

②初回ロットは1,000kgのオフセットで1,000個を予定しておりますが、この活動が広がりを見せれば、今後も継続してオフセット枡を販売する所存です。

3. 環境・地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

①枡の原材料となる加子母ヒノキの支援を通じてカーボン・オフセットを考える。そして、人の生活に切っても切り離せない林業を知るキッカケにして欲しいです。知ることで森林保全の重要性などの理解も深まると考えます。近年、よく耳にするようになった生物多様性を守ることは保護ではなく保全することが大切であると言う事を知ることに関係すると考えます。

②枡という商品の特性上、お祝い事や地域のイベントなどで使われるケースが多く考えられます。

そこで、広く多くの人にこのカーボン・オフセット枡を利用して頂くことで、広く環境問題を理解するキッカケになりたいと考えています。カーボン・オフセットの認知度向上には十分に役に立てるものだと考えます。

③全国で生産される木枡の約80%が岐阜県大垣市で製造されています。大垣の地域ブランドを生かした、まちづくり、地域づくりに貢献できるものと考えます。

④枡という商品は、古くから庶民に親しまれ、量りとして、豊臣秀吉の太閤検地にも使われていました。寺院や神社が日本を代表する伝統的建築物であると同じく、日用品として日本を代表する伝統的商品であるとも言えます。今年、ニューヨークのギフトフェアに出展しましたが、今回は、このカーボン・オフセット枡を日本ブランドと環境ブランドの両方でアピールしていきたいと考えています。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

- ① 一般の方にもわかりやすい様に、カーボンオフセット枡というものを理解して頂けるチラシを作製しました。このチラシには、「カーボンオフセット枡」とはと言うものなのか？「カーボンオフセット枡」はどのように森を元気にしているのか？の一般の方が疑問に思う問いについて解説を記載し、カーボン・オフセットという言葉に馴染みのない方でもカーボン・オフセットと森林保全について充分に理解して頂ける配慮をしております。



また、2012年の12月に行われる予定の「ちゅうぶカーボンオフセット EXPO」をはじめ、様々な展示会にも出展する予定です。

- ② これらの取り組みを通じ、当社と皆様とが協同で環境貢献について考えることが出来る機会を作ることが出来て本当によかったと思っています。
まだまだ取り組みは始まったばかりですが、消費者も一緒に生産者である加子母ヒノキについての理解や、地域貢献について考えてもらえたら幸いです。
- ③ 木枡業界というこれまでに無かった分野で初回 1000 個限定でカーボンオフセット枡を作製します。東京ギフトショー等の展示会、百貨店での催事、地域イベント等々の普段の情報発信の機会に①のチラシの配布やバイヤーや一般消費者に直接情報提供を続け、普及啓発に努めていけると信じています。

5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

今回の取り組みで一番の自慢は、『つながり』です。

建築・建具材の端材であるヒノキを利用して生業にしている当社にとって、元となる森林組合を支援することはごくごく当たり前の事です。また、地球に存在する企業として地球環境（地球温暖化）を考えることもごくごく自然な事です。それらを同時に出来る取り組みとして今回の岐阜県の加子母森林組合の J-VER を活用したカーボン・オフセットがあります。

カーボンオフセット枡の売上の一部が材料の供給地（中津川市加子母）の森林を守り、育てる活動に使われる。それは消費者にとっても非常に理解しやすく、かつ手軽に出来る地球温暖化防止活動になると思います。

『つながり』という言葉に、魅力も面白さもユニークさもすべて含まれていると思いますが、それについて個別具体的に紹介してみます。

「魅力」は、わかりやすさと言い換えることが出来ると思います。手に取れる商品であることと、木の

素材をそのまま活かしている商品で、数多ある複雑な製品サービスとは一線を画すものであります。

「面白さ」は、パンフレットにもありますが、『masu×mori』をひとつのキーワードにしています。この「カーボンオフセット枡」の商品パンフレットを見ていただければわかると思うのですが、枡（masu）の中に緑が増す（masu）増す（masu）増えていく森のイメージと、盛り（mori）上がった緑の森（mori）が表現されています。

「ユニークさ」は、上記の面白さと同意の部分がありますが、「masu」「mori」という単語を俳句などに使われる掛詞(かけことば)にしてあるところがポイントであります。

枡（masu）を購入して頂くことで、これまで以上に増す（masu）増す（masu）森（mori）をもっと盛り（mori）上げていきたい。そんな想いが沢山つまっており masu（ます）。



想いが沢山詰まっており masu、この枡を多くの人に知って頂きたい。

カーボンオフセット大賞に応募することで、少しでも多くの方に知っていただき、製品に触れ、自然を感じて頂きたいです。

そして、この枡を通して地球環境に少しでも出来ることを貢献していきたいと思っています。

よろしくお願ひ致します。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp